

— 地域農業副読本 —

各務原市の 農業

各務原市農業後継者対策協議会
各務原市経済部農林畜産課

110646973

各務原市図書館蔵書印

各務原市図書館蔵書印

10
カ



はじめに

昭和38年4月1日各務原市となって18年歴史と伝統にはぐくまれた本市は、恵まれた自然環境により近年いちじるしい発展を続けています。

自然との調和を図り豊かな文化的近代的都市として発展しようとする各務原市の農業の実態をわかりやすくまとめましたので、何かの参考になれば幸いです。

昭和56年 3月

目次

地域の概況	1
各務原市の略図	2
農業のようす	3
農産物のようす	5
1. いね	5
2. かんしょ	6
3. にんじん	6
4. その他	7
畜産のようす	8
1. 養豚	8
2. 酪農	9
3. 養鶏	9
家畜飼養頭羽数	10
養蚕のようす	11
主要農機具農家一戸当り普及台数	12
水田利用再編対策実施状況	13
農業振興地域の概要	14
知っていますか	15
各務原市のおいたち	15
米価の歩み	16

地

各務原
曾三川の
岐阜市、
接して
なっ
す。
気候
降水量
なっ
市の
り、各

地 域 の 概 況

各務原市は、岐阜県の南端、濃尾平野の北部にあり、南には、木曾三川の一つ、木曾川が愛知県との境を東西に流れています。西は、岐阜市、岐阜南町、笠松町、川島町に接し、北は関市、東は坂祝町と接しています。市の中央部は、黒ボクと呼ばれる腐食土で洪積層になっており、南部は、木曾川によってできた沖積層であります。

気候は、表日本式気候に属し、年平均気温 14.7℃、年間降水量 1,903 mm で、1 年を通じて比較的温かく過ごし易くなっています。

市の中心を国道 21 号、国鉄高山線、名鉄各務原線等が通り、名古屋・岐阜方面への交通も便利です。

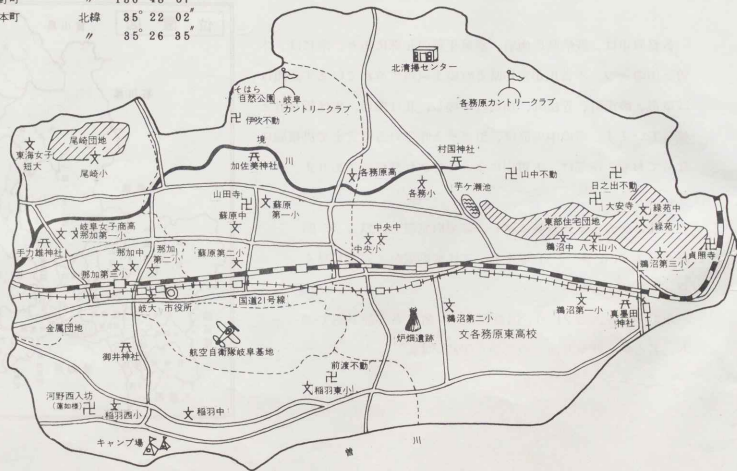


各務原市の略図

位置

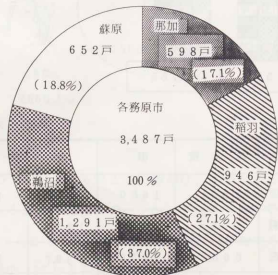
極東	鶴沼(宝積寺)	東経	136° 57' 56"
極西	大野町	経	136° 48' 57"
極南	松本町	北緯	35° 22' 02"
		緯	35° 26' 35"

東西 18.42km
南北 7.9 km

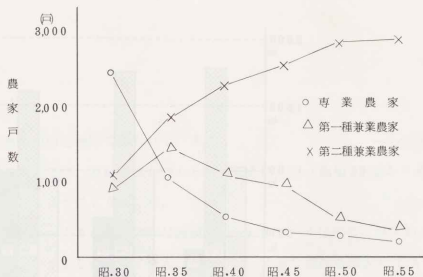


農業のようす

各務原市は昭和37年から各地区で土地改良事業が行なわれ、田や畑が整えられています。いま、各務原市には、約31,000世帯で116,100人がほとんどが生活しています。このうち、3,487世帯9,661人の家族が農業をしています。

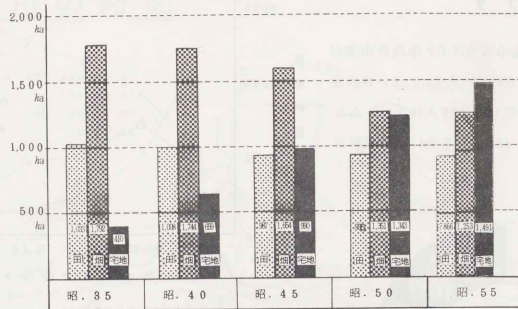


《各地区の農家戸数》



《農家戸数の推移》

農家の中でも、専業農家や第一種兼業農家は、昭和35年より減少しつつ、現在では、専業農家は、わずか200世帯となりました。一方、第二種兼業農家は年々増加し、現在では、全農家数の約83%にも及んでいます。



＜面積の推移＞

単位 ヘクタール

農地の面積は、昭和40年ごろから減少し、特に畑の減少が著しくなっています。

総面積	那加	稻羽	鶴沼	蘇原
79.52 km ²	14.13 km ²	18.89 km ²	89.54 km ²	11.96 km ²

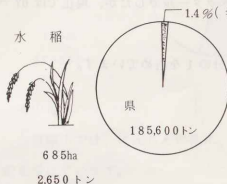
地区	総面積	田	畑	樹園地
那加	285.2	165.0	105.2	14.9
稻羽	300.8	165.9	131.2	3.7
鶴沼	668.2	232.6	360.7	74.8
蘇原	320.9	176.9	125.3	18.6
計	1,575.1	740.4	722.4	112.0

農産物のようす

1. いね

いねは、水稻と陸稻とに分けられます。

水稻は、主に蘇原、那加、各務のそれぞれの地区と南部の稲羽地区で作られています。

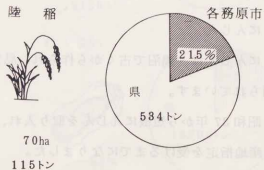


稲羽東部については、羽島用水がつけられたことにより、昭和39年から多くの水稻が作られるようになりました。

各務原市の戸当りの水稻の作付面積は、19.6アールほどで、県平均37.6アールのおよそ半分しかありません。これでは、大きな機械を導入しても十分に生かすこともできません。

また、日本では、このごろ毎年お米があまるため、田にいね以外の作物をつくることをすすめています。

陸稻は、県のほぼ5分の1を生産しています。陸稻は、手がかからないため、今後もつくられると、思われます。しかし、収量については気候に左右されやすく、35年から50年の16年間平均で195kgであります、最高246kg、最低117kgと格差が非常に大きい。



2. かんしょ

かんしょは、畑の代表作物として知られ、戦前から戦後にかけては、食用として作られていました。

作付面積は、昭和35年には908ヘクタールでしたが、現在では67ヘクタールと非常に減少しました。

生産量は、2,280トンで県の約4分の1を占めています。

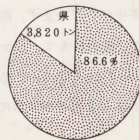


3. にんじん

にんじんは、鶴沼で古くから作られ、品質のよい産地として知られています。

昭和37年から短根にんじんを取り入れ、昭和42年には、国の産地指定を受けるまでになりました。

春夏にんじん



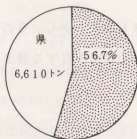
114ha

3310トン

冬にんじん



125ha
3,750トン



4. その他

各務原市では、にんじんの他に、さといも、はくさいが国の産地指定を受けています。

さといもは、県の12%、はくさいは県の20%を生産し、ほぼ全域でつくられています。が、鴨沼、各務、蘇原地区で特に多くつくられています。

さといも



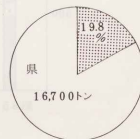
125ha
2,120トン



はくさい



86ha
3,300トン



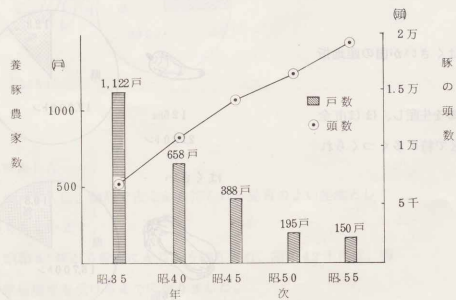
産地は、鴨沼が大半を占めていますが、蘇原、各務、那加でもつくられています。

にんじんは、収穫時期により、春夏にんじんと冬にんじんとに分けられます。春夏にんじんは、県の85%、冬にんじんは県の57%を生産しています。

畜産のようす

家畜は、農家の収入を安定させるために、多くの農家で飼育が行なわれていました。しかし、その後、一つの家畜だけを専門に飼育する農家が増え、規模も大きくなり、大型化した畜産専門の農家と数頭の家畜を有する農家とはっきり分けることができます。豚は、従来より、県下一の産地としても知られています。

1. 養豚



《豚の飼育推移》

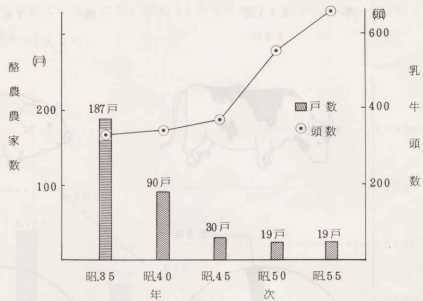
養豚は、古くから行なわれていますが、昭和31年ごろは、農家一戸当たり4～6頭という規模の小さいものでしたが、その後、専門に飼育する農家が増え、現在では、一戸当たり平均120頭も飼育されています。

昭和39年には、市営の畜産センターが設置され、品質改良にも熱心に取り組んでいます。

養鶏業の推移

2. 酪農

酪農は、昭和35年には、187戸で330頭飼育で、
 一戸当り1.8頭ときわめて、零細であったが、昭和
 55年には、19戸と10分の1に減少している一方、
 頭数は、671頭と2倍に増加し、年2,045 tの生乳
 を生産しています。



《乳牛飼養の推移》

3. 養鶏

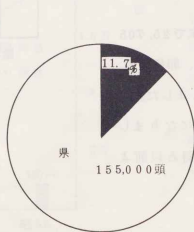
鶏は、昭和31年には、2,768戸の農家で25,705
 羽、飼育していましたが、昭和39年には、卵価の値
 下りにより、養鶏農家も半分以下に減少しました。
 その後も減少をつづけ、現在では、85戸になりまし
 た。しかし、一戸当りの羽数は、4,300羽と以前よ
 りも増加しつつあります。

家畜飼養頭羽数

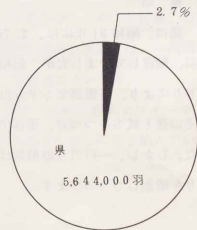
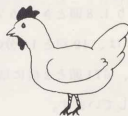
乳牛 671頭
19戸



豚 18,200頭
150戸



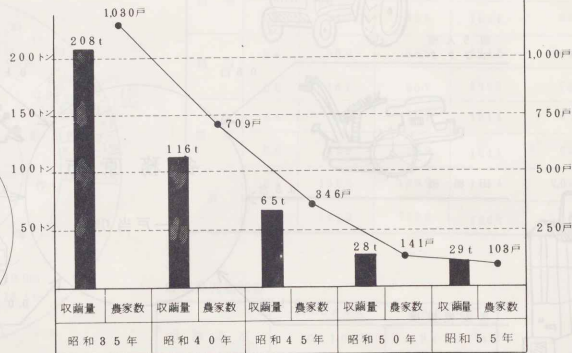
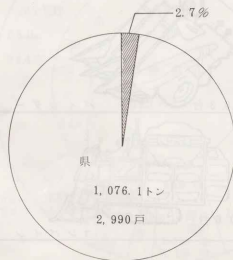
採卵鶏 150,000羽
35戸



養蚕のようす

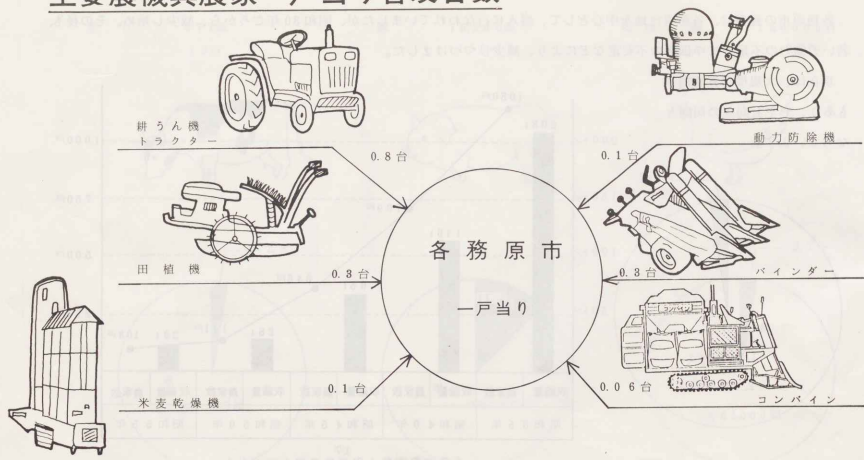
各務原市の養蚕は、各務原台地を中心として、盛んに行なわれていましたが、昭和30年ごろから、減少し始め、その後も、若い労働力の不足やまゆ価格の不安定などにより、減少しつづけてきました。

現在は、大規模な養蚕農家もあり、やや上向きの傾向となっています。



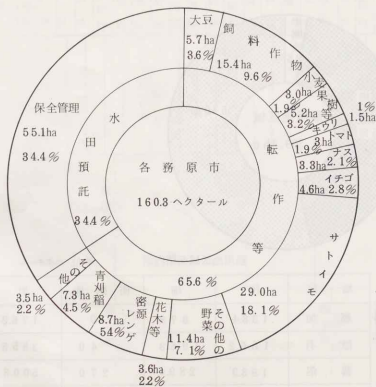
まゆ
《養蚕農家数と取繭量の移り変わり》

主要農機具農家一戸当り普及台数



水田利用再編対策実施状況

昭和55年度実施内訳



地区	年度	項目		目標達成率	実施農家数
		目標面積	実施面積		
那加	54	24.4 ha	25.7 ha	104.1%	585 戸
	55	34.4	36.2	105.2%	538
稲羽	54	22.7	26.5	116.7%	506
	55	34.0	35.5	104.4%	607
鶴沼	54	30.9	38.6	124.8%	611
	55	46.4	50.7	109.3%	759
蘇原	54	24.8	30.1	121.4%	441
	55	36.3	37.9	104.4%	487
計	54	102.8	120.9	117.1%	2,093
	55	151.0	160.3	106.2%	2,391

岐阜県実施状況

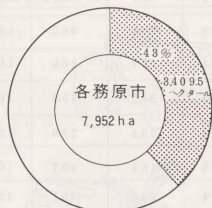
	昭和54年度	昭和55年度
目標面積	6,810 ha	9,400 ha
実施面積	8,895 "	10,968 "
達成率	131%	117%
実施農家数	85,195 戸	89,885 戸

農業振興地域の概要

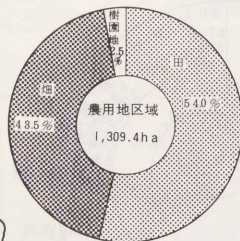
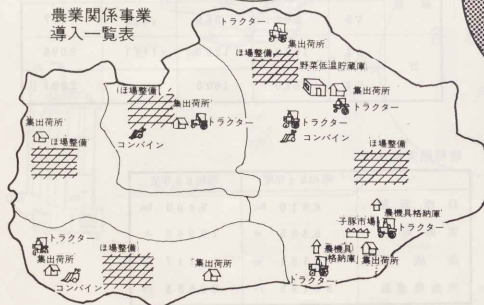
農業振興地域面積内訳

単位 ヘクタール

総面積	田	畑	樹園地	農業施設用地	山林	その他
3,409.5	875.1	906.3	39.0	1.4	39.0	1,548.7



農業関係事業
導入一覧表



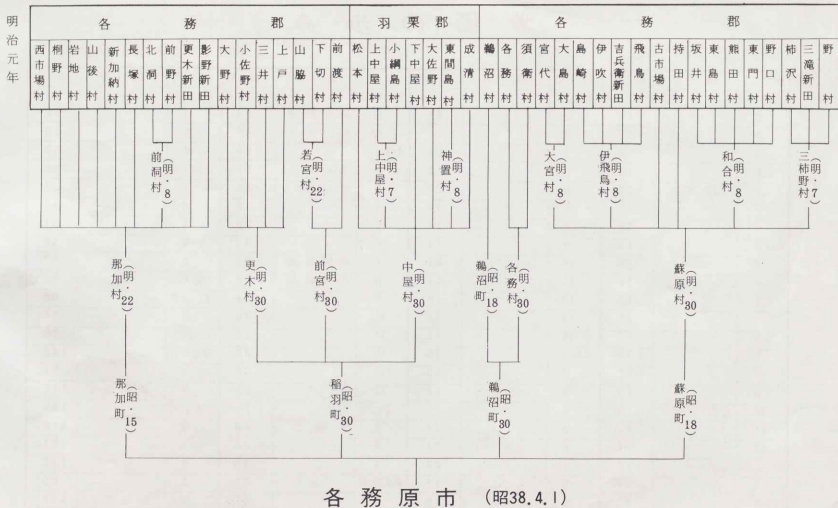
農用地区域面積内訳

単位 ヘクタール

地区	田	畑	樹園地	計
那加	138.4	37.8	0	176.2
稲羽	185.2	196.3	4.0	385.5
韓沼	183.9	289.4	27.0	500.3
蘇原	199.8	46.6	1.0	247.4
合計	707.3	570.1	32.0	1,309.4

知っていますか

<各務原市のおいたち>



クマール

その他

1,548.7

クマール

計

176.2

385.5

500.8

247.4

1,309.4

〈さかしの市の歴史〉

《 米 価 の 歩 み 》

玄米 1 俵(60 kg) の 価 格

年 代	摘 要	価 格	年 代	摘 要	価 格	年 代	摘 要	価 格	年 代	摘 要	価 格
天明元年		17 銭	文化元年		12 銭	文政10年		19 銭	嘉永 3 年		64 銭
2		16	2		15	11	越後地震	36	4		46
3	大飢饉	22	3		14	12	江戸大火	39	5		46
4		20	4		21	天保元年		30	6		47
5		18	5		14	2	人口2,720万人	30	安政元年		40
6	大雨 洪水	22	6		20	3	全口飢饉始る	38	2		28
7		17	7		10	4		25	3		32
8		16	8		14	5		30	4		51
寛政元年		15	9		14	6		32	5		55
2		12	10		21	7	諸国飢饉	60	6		67
3		15	11		16	8	佐渡騒動	28	万延元年		79
4		15	12		16	9		34	文久元年		65
5		15	13		20	10		36	2		56
6		16	14		18	11		28	元治元年		78
7		18	文政元年		16	12		30	慶応元年		142
8		17	2		13	18		35	2		294
9		15	3		12	14		25	3	幕府滅亡	146
10	百姓の強訴を禁ずる	15	4		13	弘化元年		39	明治元年		169
11		15	5		14	2	米騒動	50	2		313
12		26	6		21	3		35	3		187
享和元年		17	7		26	4		38	4		112
2		16	8		18	嘉永元年		35	5		80
3		16	9		16	2		47	6	地租改正	120

年代	摘要	価格	年代	摘要	価格	年代	摘要	価格	年代	摘要	価格
明治7年		187 銭	明治36年		436 銭	昭和7年	湖州事変	820 銭	昭和36年		4,129円
8	ロシアと樺太交換	205	37	日露戦争	436	8		1080	87		4,562
9		113	38		528	9	岡田内閣	1080	88		5,030
10	西南の役	184	39	西園寺内閣	528	10		1090	89	佐藤内閣	5,772
11		192	40		472	11	広田内閣	1180	40		6,228
12		264	41	桂内閣	492	12	文相兼 文相内閣	1390	41		6,936
13		480	42	米検査制度	400	13		1342	42		7,692
14		328	43		536	14	平沼 内閣内閣	1625	43		8,058
15	日本銀行創立	208	44	西園寺内閣	816	15	米内 近衛内閣	1630	44		8,090
16		125	大正元年	桂内閣	332	16	世襲 米内内閣	1650	45		8,152
17	内閣始	184	2	山本内閣	832	17		1690	46		8,482
18	伊藤内閣	173	3	大隈内閣	728	18		1842	47	田中内閣	8,880
19		155	4		432	19	小磯内閣	1880	48		10,218
20		148	5	寺内内閣	512	20	終 戦	60円	49	三木 内閣	13,491
21	町村憲行	142	6		600	21	吉田 内閣	220	50		15,440
22	山県内閣	200	7	原内閣	848	22	芦田内閣	700	51	福田内閣	16,472
23		200	8	米 騒動	1460	23	吉田内閣	1,487	52		17,276
24	松方内閣	264	9	人口5,500万人	2000	24		1,785	53	大平内閣	17,868
25	伊藤内閣	228	10	高橋内閣	1420	25		2,064	54		17,366
26		266	11	加藤 山本内閣	1020	26		2,812	55	鈴木内閣	17,986
27	日清戦争	266	12	東京大地震	1240	27		3,000			
28		400	13	加藤内閣	1530	28	鳩山内閣	3,280			
29	松方内閣	672	14		1360	29		3,648			
30	伊藤内閣	416	昭和元年	岩槻内閣	1270	30		3,902			
31	大隈山県内閣	828	2	田中内閣	1085	31	石橋内閣	3,788			
32		400	3		1060	32	岸内閣	3,898			
33	伊藤内閣	376	4	浜口内閣	1040	33		3,880			
34	桂内閣	376	5		628	34	伊勢湾台風	3,836			
35		496	6	岩槻内閣	650	35	池田内閣	3,902			

